

特集



大和川大水害 昭和57年7月~8月
(被災直後の王寺駅付近、写真提供:王寺町)



紀伊半島大水害 平成23年8月~9月
(被災直後の十津川村長殿地区)

水害

土砂災害に

備える!



幼稚園児の防災学習
(奈良市防災センター)



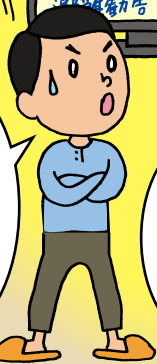
高校生と地域住民の合同避難訓練
(県立吉野高校)



非常持出品
(奈良市防災センター)

ある家庭の 災害時のようす

〇〇地区に
避難勧告が
発令されました。



避難場所までの
安全な道がないぞ。

ママ、
懐中電灯が
つかないよ。

もう外は暗いし、
すごい雨よ。



度の倉庫には
非常食があるが
期限切れ...

台風や集中豪雨に伴う、水害・土砂災害が発生しやすい季節になってきました。奈良県では、4年前の「紀伊半島大水害」が記憶に新しいところです。過去にもこの季節に、伊勢湾台風、大和川大水害等、多くの水害・土砂災害が発生しています。

身近な場所ではどのような災害の危険があるのか知っていますか？実際に災害が起きたときの準備はできていますか？

いつ起こるかわからない災害から自分や家族、身近な人の命を守るように、事前に備えておきましょう。

こうならないように、 事前の備えが必要です!

普段からの備え

家族みんなまで備える

身近な危険箇所を確認

自宅や職場、学校等の身近なところ(そこからの避難場所までの経路も含む)に洪水や土砂災害の危険箇所がないか、家族で確認しておきましょう。

洪水のおそれがある場所は？

市町村(洪水により大きな被害が想定される県内31市町村)が作成・配布する「洪水ハザードマップ」で河川が氾濫した際に洪水のおそれがある箇所等を確認できます。

詳しくは 奈良県洪水ハザードマップ

検索

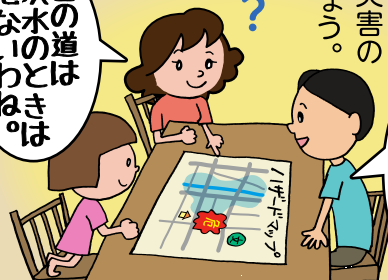
家族で水害・土砂災害について話し合っていますか？

災害時には、家族が離ればなれになつてしまう場合もあります。

いざというときに、安全に避難するために、家族で話し合い、確認しておくことが大事です。

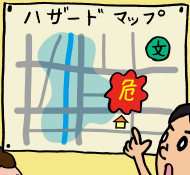
別の道で避難しよう。

この道は洪水のときは危ないわね。



土砂災害のおそれがある場所は？

わが家の近くが土砂災害警戒区域になってるよ。



早めの避難が必要なのね。



土石流、地すべり、がけ崩れによる土砂災害の危険箇所として、県内で約11,000箇所の土砂災害警戒区域を指定しています。

危険な場所は、市町村が作成・配布する「土砂災害ハザードマップ」で確認しましょう。

お手元にハザードマップがない場合は、住んでいる市町村に確認しましょう。

過去の災害を知る

災害は繰り返すと言われます。自分の身近なところで過去にどのような災害が発生したのか、知っておきましょう。

『歴史から学ぶ奈良の災害史』

江戸時代からの災害の歴史を一冊にまとめています。

県内の図書館やインターネットで閲覧できます。

詳しくは 歴史から学ぶ奈良の災害史

検索



土砂災害を学ぶ

県ホームページ「土砂災害から身を守る」では、土砂災害から身を守る方法等について、豊富なイラストやアニメ等でわかりやすく学ぶことができます。こども向けのコンテンツもあります。

イラストの例



土石流からの逃げ方
土砂の流れる方向にたいして直角に逃げましょう。

詳しくは 奈良県土砂災害から身を守る

検索

災害用伝言ダイヤルを体験

災害の発生により、電話などがつながりにくい状況になった場合に便利です。一度体験してみましよう。

避難を家族に伝える方法を知っておこう

災害用伝言ダイヤルが便利です。

171にダイヤル

▼ガイダンスが流れます▼

録音は1 再生は2

▼ガイダンスが流れます▼

被災地の方の電話番号を市外局番から入力



ママ、避難所についたよ。

被災地



無事で良かった。ママもすぐ向かうから！



会社の近くの安全な場所に避難してるよ。

市外の勤務先など

毎月1日または15日などに体験利用ができます。

非常持出品を準備

水や食料、懐中電灯、携帯ラジオなどの非常持出品を準備しておきましょう。すぐに持ち出せるように、リュックなどに入れておきましょう。

水や食料は定期的に確認・交換しよう。

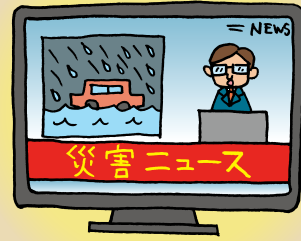
確認・交換しよう。



持出品は7Pでチェック！

雨が降り出したら

まずは情報収集



台風の接近時や雨が降ってきたら、テレビ、ラジオ、インターネット、市町村の防災行政無線などで正確な気象情報や災害情報を集めましょう。

災害情報の収集には

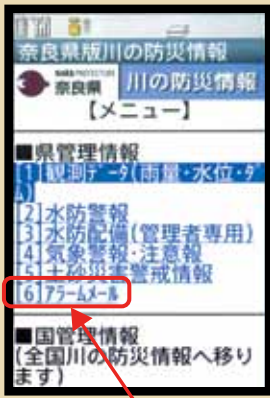
県HP「防災・危機管理」

気象情報の発表状況や台風等の情報、土砂災害の情報等、さまざまな情報にアクセスできるポータルサイトです。

詳しくは 奈良県防災・危機管理 **検索**

携帯版奈良県「川の防災情報」

登録すると、川の水位や雨量等が基準値を超えた場合などにアラームメールが届くようになり便利です。



登録はここから



詳しくは 携帯版奈良県川の防災情報

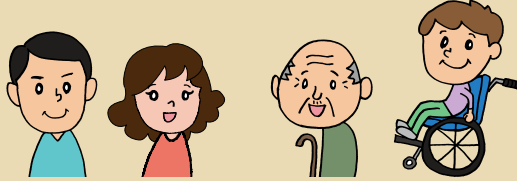
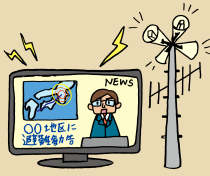
検索

早めの避難

豪雨が予想されるなど、災害が発生するおそれが高まった場合は、早めに安全な場所に避難することが大事です。(夜間に大雨が予想されるときは暗くなる前に避難しましょう。)

市町村の避難情報が出たら

<p>避難準備情報</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●非常持出品の準備等、避難準備を開始。 ●避難に時間がかかる人を支援。 	<p>避難に時間がかかる人は、避難場所への避難行動を開始。</p>
<p>避難勧告</p>	<p>避難場所への避難行動を開始。</p>	
<p>避難指示</p>	<p>避難中の人は直ちに避難を完了。未だ避難していない人は直ちに避難行動に移るか、それができない場合は命を守る最低限の行動(下の「緊急時は!」参照)を。</p>	



※「地鳴り・山鳴り」などの土砂災害の前兆現象が現れた場合も早めに避難しましょう。

豪雨や夜間などにより避難が間に合わなかった
緊急時は!

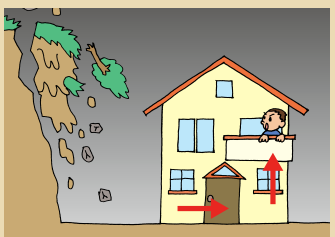
洪水のとき

- 高台や建物の上層階に避難する。
- 車を運転中の場合は、高台へゆっくりと移動する。(いざというときは、車を乗り捨てる。)
- 流れる水には近づかない。



土砂災害のとき

- 近くの頑丈な建物の2階以上の山側から離れた部屋に避難する。
- それも難しい場合は、自宅の2階の山側から離れた部屋等に避難する。
- 谷には近づかない



知事からひとこと

紀伊半島大水害から、4年が経過しようとしています。改めて、お亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

県では、紀伊半島大水害から得た教訓を踏まえ、「災害から命を守る日本」の防災の息を目指し、ハード・ソフトの両面から取り組みを進めています。

県民の皆さまには、災害から身を守るために、普段からの備えをお願いします。



保存できる食料品を
普段から多めに買い
おきしておくで備蓄が
できます。



災害でライフラインが途切
れることがあるから、最低
7日分以上の飲食物を
用意しよう。



このリストを使って、
非常持出袋の中身を
確認してね。



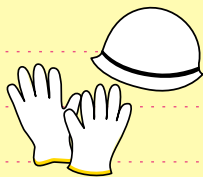
このページを記入して、
見やすい場所に貼つて
おこう。



日頃から準備しておきましょう!

非常持出品のチェック

- 飲料水
- 非常食(乾パン・缶詰 など)
- 懐中電灯(予備の乾電池も用意)
- 携帯ラジオ・携帯電話・充電器
- 貴重品(現金・印鑑・預金通帳)
- 免許証・健康保険証 など
- 持病の薬・常備薬・ばんそうこう
- タオル・ティッシュペーパー
- ヘルメット(防災ずきん)
- 軍手
- 衣類(上着・下着)
- ナイフ・缶切り
- 洗面用具・ビニール袋
- 生理用品 など



家庭における備蓄品のチェック

- 水(1人あたり1日3リットル)
- 食品(缶詰・レトルト食品など)
- 卓上コンロ・カセットボンベ
- 簡易食器(割箸・紙皿・紙コップ)
- 毛布・タオルケット・寝袋
- ろうそく・ライター
- ラップ・アルミホイル
- マスク・使い捨てカイロ
- ティッシュペーパー・
トイレットペーパーなど



7日分
以上



●必要に応じて用意しましょう

- ミルク・離乳食・紙おむつ
- 着替え・補助具・ウエットティッシュ

避難カード 家族で情報を確認・共有しておきましょう。

緊急 連絡先	連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
家族 データ	氏名	電話(連絡先・学校)	血液型	アレルギー
				備考(常備薬など)
親戚・ 知人 連絡先	氏名	電話番号	住所	備考(家族との関係など)
集合 場所	場所	住所	備考(連絡先、避難経路など)	
避難 場所	場所	住所	備考(連絡先、避難経路など)	

問 防災全般について 県防災統括室 ☎0742-27-7006 FAX 0742-23-9244